



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 4463 URL <https://www.nicca.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 2024年9月9日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	26,044	7.1	1,626	275.8	2,007	161.8	1,217	327.0
2023年12月期中間期	24,306	△2.5	432	△68.8	766	△58.0	285	△73.1

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 3,177百万円 (90.2%) 2023年12月期中間期 1,670百万円 (△47.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	77.01	—
2023年12月期中間期	18.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期中間期	59,390	35,455	55.1	2,069.56
2023年12月期	56,918	32,822	52.9	1,906.56

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 32,750百万円 2023年12月期 30,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2024年12月期	—	25.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	6.6	3,200	56.9	3,700	46.3	2,200	30.1	139.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	17,710,000株	2023年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	1,885,105株	2023年12月期	1,905,013株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	15,808,260株	2023年12月期中間期	15,789,138株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）における世界経済は、不安定な国際情勢の中で、資源価格の高騰や世界的な金融引き締め政策が継続し、先行きが不透明な状況となっております。また、わが国経済は、株価上昇やインバウンド消費の持ち直しなど景気は緩やかな回復基調となっておりますが、急激な円安の進行による物価の上昇や、長期金利の上昇が進む中で、不安定な経営環境となっております。

このような中、当社グループは企業パーパス「Activate Your Life」（ステークホルダーとともに、無限に広がる界面カガクのチカラで様々な社会課題を解決し、より豊かな暮らしや輝く未来に貢献すること）に基づき、中長期成長ビジョンとして『世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー』を掲げております。当パーパス、ビジョンのもと3か年中期経営計画『INNOVATION25』（2023-2025）を策定し、現在、中期経営計画の5大戦略である「事業構造の大転換」「メリハリのある投資」「生産性改革」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」の推進に取り組んでいるところであります。

今後も激変していく経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力し永続的成長を目指してまいります。

当中間連結会計期間の売上高は26,044百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益1,626百万円（前年同期比275.8%増）、経常利益2,007百万円（前年同期比161.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益1,217百万円（前年同期比327.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

（化学品事業）

売上高は19,186百万円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益は1,856百万円（前年同期比317.5%増）となりました。

フッ素フリー系撥水剤や繊維加工工程合理化薬剤といった高付加価値EHD（Environment／環境、Health／健康・衛生、Digital／先端材料）関連売上の伸長及び新規ビジネス獲得に加え、繊維市場における欧米アパレルの在庫調整、中国におけるコロナ急拡大に伴う稼働率低下からの一部回復、価格改定・原料コストダウンによる収益力向上、更に、為替の影響もあり、増収増益となりました。

（化粧品事業）

売上高は6,707百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益は675百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

当社デミコスメティクスにおきましては、新商品を含めた注力商品は販売増となりましたが、引き続き美容サロンの来店客数減による市況悪化の影響を受け既存品の販売減が大きく、また連結子会社の山田製薬株式会社における大口受託案件も販売減となりました。

一方、連結子会社のDEMI KOREA CO., LTD.における販売は好調に推移し、山田製薬株式会社におけるその他受託案件も堅調に推移いたしました。化粧品事業全体としては減収となりました。

また、減収による影響に加えて、販売関連費用の増加や在庫変動の影響を受けた事で減益となりました。

（その他）

売上高は150百万円（前年同期比53.4%減）、セグメント損失は9百万円（前年同期はセグメント利益58百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、2,471百万円増加し59,390百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が869百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が986百万円、原材料及び貯蔵品が443百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、162百万円減少し23,934百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が479百万円増加し、1年以内返済予定の長期借入金が550百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、2,633百万円増加し35,455百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が964百万円、為替換算調整勘定が1,577百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ35百万円減少し、7,942百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは2,175百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益2,007百万円及び減価償却費1,087百万円等の収入と、売上債権の増加額463百万円による資金の減少、法人税等の支払額390百万円の支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは1,512百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入375百万円等の収入と、定期預金の預入による支出1,230百万円及び有形固定資産の取得による支出601百万円の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは1,299百万円となりました。これは主に、借入金の返済による支出（純額）734百万円、配当金の支払252百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年2月13日に公表いたしました業績予想から、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえ修正を行っております。

詳細につきましては、2024年7月31日公表の「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,344	9,213
受取手形、売掛金及び契約資産	11,029	12,015
商品及び製品	5,902	6,027
仕掛品	895	845
原材料及び貯蔵品	4,078	4,521
その他	838	993
貸倒引当金	△10	△17
流動資産合計	31,077	33,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,787	12,631
機械装置及び運搬具（純額）	2,789	2,584
土地	5,443	5,546
その他（純額）	868	1,060
有形固定資産合計	21,889	21,823
無形固定資産		
その他	498	526
無形固定資産合計	498	526
投資その他の資産		
その他	3,452	3,440
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	3,452	3,440
固定資産合計	25,841	25,790
資産合計	56,918	59,390

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,895	6,375
短期借入金	4,100	4,000
1年内返済予定の長期借入金	1,518	968
未払法人税等	264	428
賞与引当金	835	757
役員賞与引当金	—	8
その他	3,161	3,123
流動負債合計	15,776	15,662
固定負債		
長期借入金	3,652	3,568
退職給付に係る負債	3,461	3,468
株式報酬引当金	187	180
その他	1,019	1,055
固定負債合計	8,320	8,271
負債合計	24,096	23,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	2,951	2,978
利益剰余金	22,145	23,109
自己株式	△1,429	△1,412
株主資本合計	26,566	27,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	595	609
為替換算調整勘定	3,140	4,718
退職給付に係る調整累計額	△169	△151
その他の包括利益累計額合計	3,567	5,175
非支配株主持分	2,689	2,705
純資産合計	32,822	35,455
負債純資産合計	56,918	59,390

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）
（中間連結会計期間）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	24,306	26,044
売上原価	16,727	16,747
売上総利益	7,579	9,296
販売費及び一般管理費	7,146	7,669
営業利益	432	1,626
営業外収益		
受取利息	23	35
受取配当金	15	16
持分法による投資利益	3	5
為替差益	52	178
通貨スワップ評価益	43	96
その他	223	79
営業外収益合計	361	412
営業外費用		
支払利息	15	18
その他	11	13
営業外費用合計	27	31
経常利益	766	2,007
特別利益		
固定資産売却益	3	1
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産除却損	0	1
固定資産売却損	0	0
投資有価証券評価損	0	—
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	1	1
税金等調整前中間純利益	768	2,007
法人税等	417	644
中間純利益	350	1,362
非支配株主に帰属する中間純利益	65	145
親会社株主に帰属する中間純利益	285	1,217

（中間連結包括利益計算書）
（中間連結会計期間）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）
中間純利益	350	1,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	14
為替換算調整勘定	1,287	1,782
退職給付に係る調整額	20	17
その他の包括利益合計	1,320	1,814
中間包括利益	1,670	3,177
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,437	2,825
非支配株主に係る中間包括利益	233	351

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	768	2,007
減価償却費	1,101	1,087
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	50	14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△100	△80
受取利息及び受取配当金	△39	△51
支払利息	15	18
持分法による投資損益 (△は益)	△3	△5
補助金収入	△104	—
売上債権の増減額 (△は増加)	738	△463
棚卸資産の増減額 (△は増加)	636	△71
仕入債務の増減額 (△は減少)	△874	186
その他	△41	△109
小計	2,146	2,531
利息及び配当金の受取額	55	52
利息の支払額	△15	△18
法人税等の支払額	△531	△390
補助金の受取額	104	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,759	2,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△485	△1,230
定期預金の払戻による収入	550	375
有形固定資産の取得による支出	△567	△601
有形固定資産の売却による収入	6	25
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	—	0
その他	△0	△78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△501	△1,512
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	54,400	49,323
短期借入金の返済による支出	△54,750	△49,423
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9	△5
長期借入金の返済による支出	△684	△634
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△105
配当金の支払額	△299	△252
非支配株主への配当金の支払額	△86	△202
自己株式の売却による収入	13	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,415	△1,299
現金及び現金同等物に係る換算差額	342	601
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	185	△35
現金及び現金同等物の期首残高	6,263	7,977
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,448	7,942

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,160	6,823	23,984	322	24,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	125	127
計	17,160	6,824	23,985	448	24,433
セグメント利益又は損失（△）	444	850	1,295	58	1,353

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,295
「その他」の区分の利益	58
セグメント間取引消去	7
全社費用（注）	△927
中間連結損益計算書の営業利益	432

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,186	6,707	25,893	150	26,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	119	120
計	19,186	6,708	25,894	270	26,164
セグメント利益又は損失（△）	1,856	675	2,531	△9	2,521

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,531
「その他」の区分の利益又は損失（△）	△9
セグメント間取引消去	25
全社費用（注）	△920
中間連結損益計算書の営業利益	1,626

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。